

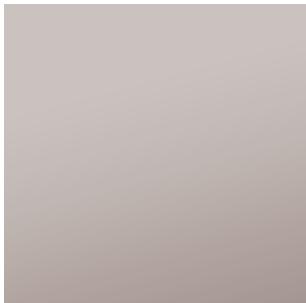


第7期 株主通信

第2四半期

2021年1月1日~6月30日

BUSINESS REPORT



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

確かな物づくりを核に各社の持ち味を最大限に発揮、 シナジー効果を促すことで新たなニーズにお応えしてまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社日本創発グループ 第7期第2四半期(2021年1月1日~2021年6月30日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客さまが創造性(クリエイティブ)を表現するために必要となる多様なソリューションを提供する「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が再拡大、首都圏のみならず全国主要都市部を中心にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出され、今もなお先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社企業グループは引き続き一丸となって感染防止に努める一方、変容する生活様式や社会ニーズへ対応するため、各拠点設備の再編による経営効率化、M&Aによるソリューションの増強、生産能力拡大を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高266億17百万円(前年同期比108%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億25百万円となりました。

当社企業グループは今後も社会の変化に柔軟に対応し、お客さまにとって必要不可欠な企業集団としてあり続けるため、クリエイティブサービス事業を軸としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2021年8月

代表取締役社長 藤田 一郎

グループ参画企業の増加

当事業年度におきましては、株式会社小西印刷所を1月から、株式会社リングストーンを4月から、それぞれ持分法適用関連会社といたしました。

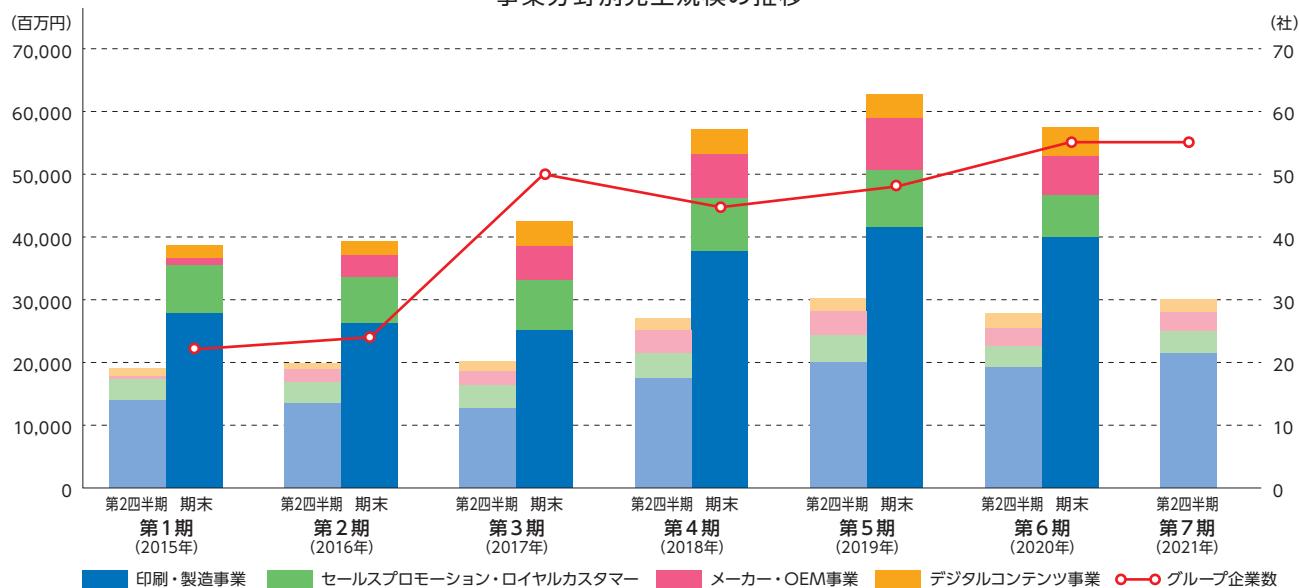
また、4月に大阪市を基盤に映像・音響に関わるシステムや機材全般についての幅広いニーズに対応しているジャパンプロードキャストソリューションズ株式会社と、大手出版社の定期雑誌などをはじめとするDTP制作、編集業務で高い技術と実績を有する株式会社アド・クレールが当社企業グループに参画いたしました。さらに5月には愛知県を基盤に、関東・関西を含めた5工場を有し、独立資本経営では国内で最大規模の製本会社である飯島製本株式会社が持分法適用関連会社として参画、これらに

よって当社企業グループは新たなソリューション、強力な製造設備とキャパシティ、そして商圏の拡大を獲得することとなりました。

また、7月には株式会社キャドセンターの一事業として、立体スキャン、3Dデータの制作から3Dプリンターによる造形出力全般を行っていた立体造形工房を、今後の事業拡大、サービス向上を目的に株式会社立体造形工房として分社独立いたしました。

当社企業グループは「クリエイティブをサポートする企業集団」としてさらにグループ企業同士の連携を強化し、多様なソリューション能力と製造能力の拡大を通じ、これからも事業の発展と企業価値の向上に取り組んでまいります。

事業分野別売上規模の推移



※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

製造拠点・物流拠点の再編と拡充

当社企業グループにおいては各社の事業環境、立地条件や保有設備の状況に応じて、製造設備の効率的活用、物流の効率化を積極的に進めております。

2020年においては、DECOチョコ事業やアクリル材に対する印刷・レーザー加工などを都内から愛知県刈谷市の株式会社あみューズに移管いたしました。また、今後とも需要の拡大が期待されることから、静岡県磐田市の株式会社アプライズの磐田工場でも製造加工を開始し設備増強を行っております。株式会社美松堂つくば工場においては、株式会社エヌビー社の商品である便せんや封筒などの製品を製造するために、製袋機などを導入し、グループ内製化を進めております。また、物流・アッセンブリー拠点の再編も進めており、最大商圏である首都圏エリアにおいては、美松堂つくば工場の物流設備を整備するとともに、東京リスマチック株式会社が朝霞工場を新設、商品・製品の保管業務のほか、仕分け・アッセンブリー業務を担う体制を整えました。また東海地方においても、愛知県安城市にあみューズの城ヶ入町新倉庫を設置するとともに、静岡県磐田市のアプライズ磐田工場内の物流設備を整備し、より広いエリアをカバーすることが可能となりました。

今後も、グループ経営の利点を活かした「選択と集約」を推し進め、お客さまへのサービス向上、競争力強化に取り組むとともに、環境負荷を低減させることにも貢献してまいります。



「SHIBA studio」開設

昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により、テレワークが普及するなど、非接触で実現するコミュニケーション手段、ビジネスモデルへの需要が一気に高まってきました。当社企業グループでは、2D・3DグラフィックおよびVR・AR・MRを活用し、各種シミュレータや詳細な地形・都市データを使用した「REAL 3D MAPシリーズ」など、仮想空間の表現技術に取り組んでいる株式会社キャドセンターと、3D映像コンテンツの制作および、その映写環境の構築に実績を有する株式会社アエックスとのコラボレーションにより、港区芝に配信業務にも対応可能なXR制作空間、スタジオスペース「SHIBA studio」を開設いたしました。

新型コロナウイルスの影響でリアルイベントの開催が制限される中、エンタメ系企業のプレゼンテーションやカンファレンス、発表会や展示会など多くの用途に対応できるよう、新たにグループに参画したジャパンブロードキャストソリューションズ株式会社の力もフル活用しながら順次設備の拡充を進めてまいります。

大阪市中央区に既設のアエックス「SHIROMI studio」も加えた東西2拠点をもち、アフターコロナにおけるニーズの変化を見据えた戦略的な活用を進めてまいります。



社長に聞く!

これからの
日本創発
グループ

Q & A

みなさまからの疑問にお応えします

**Q1 今後の事業展開についてお聞かせください。**

「クリエイティブをサポートする企業集団」を標榜し、お客さまが創造性(クリエイティブ)を表現するために必要とする多様なソリューションをご提供していく当社企業グループの方針は、これまでと全く変わりません。

これからもお客さまの思いを確かなカタチにするための表現力を磨き、グループ各社の技術やノウハウを活かした新しい

アイデアをご提供できるよう、さらなる企画力と実行力の向上に努めてまいります。

私たちは株主さまからの信頼と期待に応え、また社会の一構成員として相応しい存在であるため、コーポレートガバナンスの強化と社会的責任を遂行し、安定した財務基盤の確立、絶え間ない成長、企業価値の向上を追求してまいります。

Q2 M&Aを含めた今後の戦略と、注力していく分野について教えてください。

お客さまのクリエイティブニーズにお応えし続けるためには、これからも新たな商材やサービスの増強が必要不可欠となります。独自の技術・特色をもつ企業がグループに加わり、新たなソリューションのご提供を可能とすることにおいて、M&Aという手段は効果的な手段であり、これからも積極的に活用したいと考えております。

しかし私たちがM&Aに望んでいるのは、単に不足しているソリューションを充足させることだけではありません。お客さまの期待を超える、まったく新しい価値を創発するための触媒として

M&Aを捉えております。

よって、あらかじめ「こういう会社さん」というのを望むのではなく、「この会社さんが私たちのグループに入ると、何か予期せぬ面白いことが起きるような気がする……」といったインスピレーションを私たちはより大事にしております。

ターゲットを定めたM&Aではなく、あえてターゲットを定めないことを戦略とし、自由な発想と多様性を確保することができ得る企業との出会いにこだわり、豊かな土壌を造ることが新しい価値の創発を生み出すために有効であると考えております。

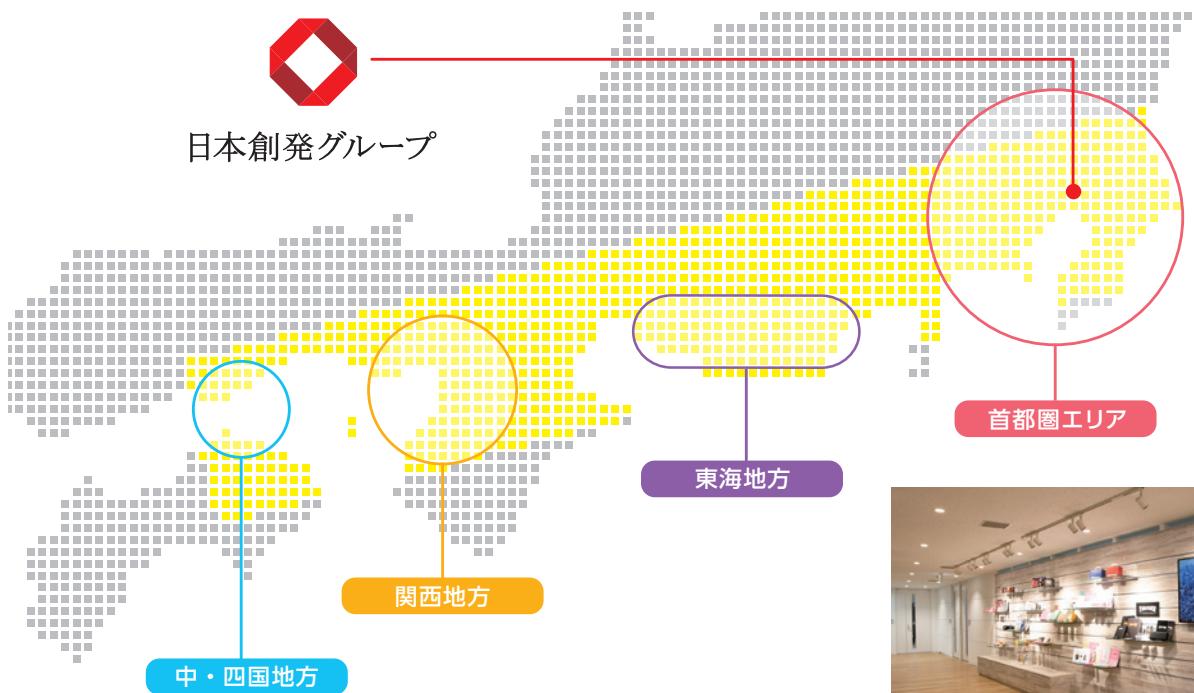
Q3 地域戦略についてのお考えをお聞かせください。

当社企業グループは長い間首都圏を中心に拡大、発展してまいりました。2017年以降、中堅地方都市に事業基盤を有する企業が次々とグループに参画したことにより、特に首都圏以西へと事業拠点が進展し、中・四国地方から関西・東海地方、首都圏までを一直線に結ぶ拠点網が構築されました。

この拠点網の構築により、当社企業グループにとって商圏の

拡大をもたらすとともに、より広範囲のお客さまに多様な商材と、きめ細かいサービスの提供を可能とし、また物流面での効率化とコスト削減を狙えるようになりました。

当社企業グループは今後も拠点の拡充はもとより、グループ内での相互連携をさらに円滑にする環境整備を進め、グループ各社によるシナジー効果創出を促してまいります。



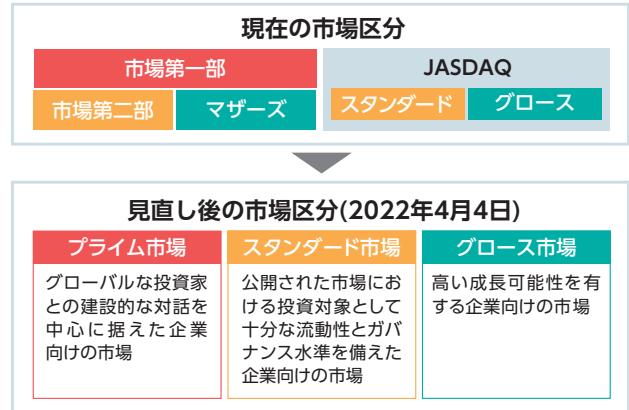
関西地方の拠点の一つ、グループ4社が集まるなんばスミソウビルのフロアエントランス。

Q4 2022年東証による市場再編が予定されています。日本創発グループはどうなるのですか？

東京証券取引所が運営する株式市場は現在の東証1部、東証2部、マザーズ、JASDAQスタンダード、JASDAQグロースの5市場で運営されていますが、これらは2022年4月4日にプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の3つの市場に再編される予定になっております。

当社は、本年7月9日東京証券取引所より新市場区分における「スタンダード市場」の上場維持基準に適合するとのお知らせを受け、「スタンダード市場」を選択し、申請することといたしました。

今後とも、事業の拡大とガバナンス体制の一層の強化に努め、企業価値の向上に努めてまいります。



Q5 日本創発グループのSDGsへの取り組みを教えてください。

当社企業グループは中核概念の中で、地域社会や環境に対する責任を積極的に果たしていく「良き市民」であることを謳っており、国連の定めるSDGsを支援しております。

その一例をあげると、株式会社プレシーズでは、2013年から栃木県佐野市葛生町にある「プレシーズの森」で、耕作放棄地から酒米の育成する水田づくりをはじめとする里山保全活動を、自然と人のマッチングをおこなう合同会社「モリ田守」の協力のもとで行っております。

実際の米作りを通して「水源保全」「生物多様性保全」といったSDGsの目標を意識するだけでなく、体験しながら学び、貢献することのできる取り組みとして毎回参加されたみなさまから好評をいただいております。

私たちは、今後もさまざまな形で「良き市民」として、SDGsに取り組みでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



新規グループ参画会社紹介

2020年10月参画/2021年1月持分法



 株式会社 小西印刷所

株式会社小西印刷所
商業印刷および付帯サービス
兵庫県西宮市今津西浜町2-60
<https://www.konishi-p.co.jp/>
持分法適用関連会社 議決権比率:39.02%

兵庫県西宮市で1926(大正15)年に創業、同市内最大規模を誇る総合印刷会社です。ドイツ製の最新鋭印刷機を国内で最初に導入するなど進取の精神は創業以来のもの。長期にわたる優良な企業さまとの取引実績がこれまでに培ってきた信頼関係を裏付けております。長年築き上げてきた印刷技術や情報テクノロジーを基盤にシステム構築・WEB・動画作成や販促・プロモーション企画の運営・制作など、「印刷」の枠を超えた「総合サービス」の提供を標榜しており、当社企業グループの多彩なリソースをブレンドすることで、今までにないアイデアやワンストップサービスの実現を目指します。

2021年1月参画/2021年4月持分法



 あなたの包むをカタチにする
RINGSTONE

株式会社リングストーン
包装資材および
販促商品の企画・製造・販売
東京都江東区亀戸6-1-10
<https://www.ringston.co.jp/>
持分法適用関連会社 議決権比率:37.83%

1971年12月設立。ファッションバックを中心に包装資材、パッケージ、販促商品など、合成樹脂製品の企画・開発・製造・販売を行っております。茨城県行方市の自社工場は、約8,000坪の敷地にグラビア印刷機、各種自動製袋機を備えた4つの工場棟と、製品倉庫、社員寮を配し、デザインから印刷・製袋・加工・デリバリーまでの自社一貫生産体制を構築するほか、海外協力工場とも連携し、お客さまの柔軟なニーズと短納期に対応しております。当社企業グループとの親和性も高く、互いのソリューションを融合することで新たなシナジー効果の創出を見込んでおります。

2021年4月参画




japan broadcast solutions Inc.

ジャパnbロードキャストソリューションズ株式会社
映像・音響システムの企画・設計・施工
大阪市中央区今橋1-6-19 アーク北浜ビル
<https://www.jbs-inc.jp/>
持分法適用外関連会社 議決権比率:14.89%

劇場・ホール・スタジアム・公営競技場、博物館・学校や放送局など、映像・音響とその配信設備を含め、プランニング・システム設計・開発、施工・メンテナンスまでをトータルでお応えするエンジニアリングサービスを行っております。プロ用機材の販売やレンタルに加え、必要なコンテンツ制作やLIVE中継・配信などのクリエイティブサポートを提供することで、お客さまのプロジェクトをより確かにするための「プラスαエンジニアリング」を目指しております。

2021年4月参画



アド・クレール
adclair co.,ltd.

株式会社アド・クレール

グラフィック エディトリアル
デザイン・DTP製作

東京都千代田区神田神保町3-7-4

<https://www.adclair.co.jp/>

持分法適用外関連会社 議決権比率:100.00%

1978年に写植版下製作会社として創業。以来時々の最新設備を積極的に取り入れながらオリジナルの企画に基づき、新しい見地から必要とされる印刷物や資料を作成、企業の広報活動やパブリックリレーションのためのツール作りをお手伝いすることで、多くのお客さまからの信頼を得て事業を拡大してきました。長年培ってきた美しい組版、プログラミングによる半自動処理、そしてWEBや電子書籍への展開などを強みにお客さまのニーズにお応えしております。

当社企業グループへの参画を機に、より付加価値の高いサービスの提供、事業の効率化、企業価値の向上に努めてまいります。

2021年5月参画/2021年7月持分法



ijima
飯島製本株式会社

飯島製本株式会社

製本全般(無線綴・中綴・
カレンダー製本・リング製本・
特殊折加工)

愛知県名古屋市長東区高社1-86

<http://www.ijimabb.com/>

持分法適用関連会社 議決権比率:21.60%

今年で100周年を迎える(創業1921年)独立資本経営では日本で最大規模の総合製本会社です。名古屋市に本社を置き、中京圏の3工場に加え、関東圏、関西圏にも各1工場を有して広域なエリアをカバーするほか、他社に抜きんでた製造設備によって業界トップレベルの生産能力を保持しております。当社企業グループのソリューションと同社のインフラ設備やノウハウなどを融合させることで、互いに商材の付加価値の向上を狙うとともに、物流を含む生産効率のアップ、商圏の拡大、そして幅広いサービス展開を目指して取り組みを強化してまいります。



- ① 藤岡工場 (愛知県)
- ② 嵐山工場 (埼玉県)
- ③ 八尾工場 (大阪府)
- ④ 恵那工場 (岐阜県)
- ⑤ 東郷工場 (愛知県)
- ⑥ 本社社屋 (愛知県)

連結業績ハイライト

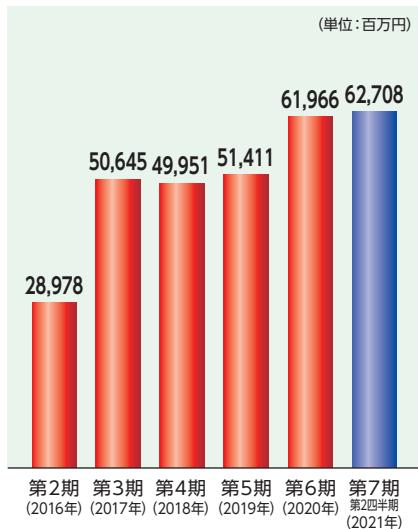
◆ 売上高



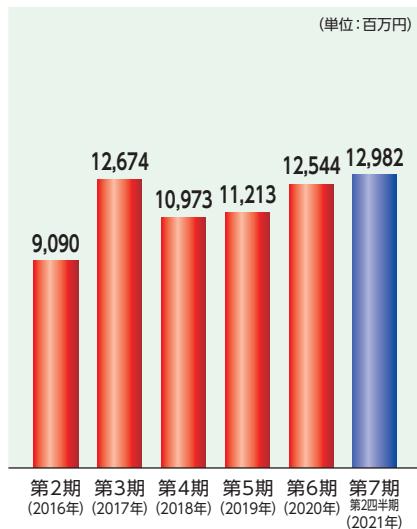
◆ 営業利益



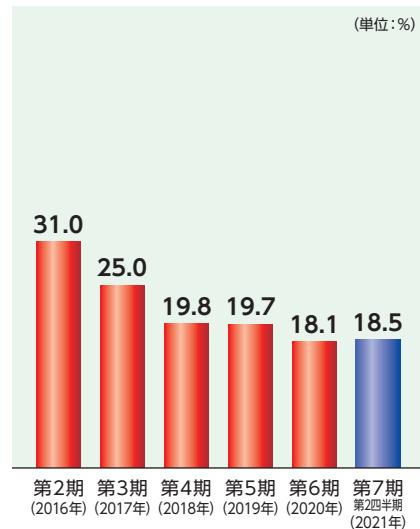
◆ 総資産



◆ 純資産

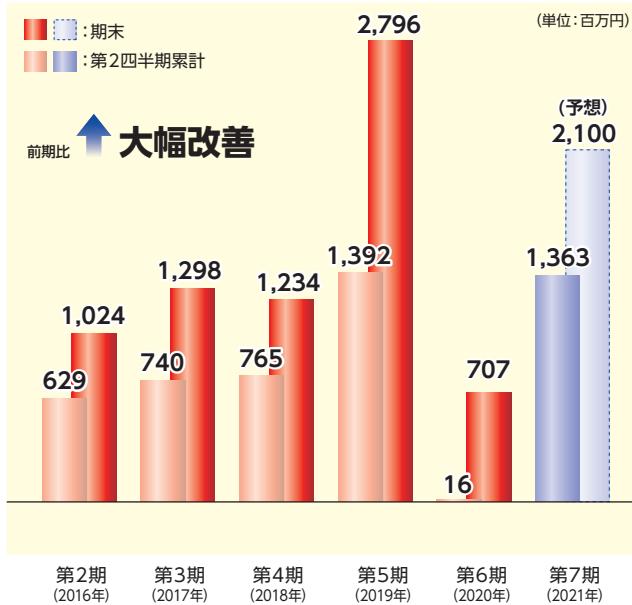


◆ 自己資本比率

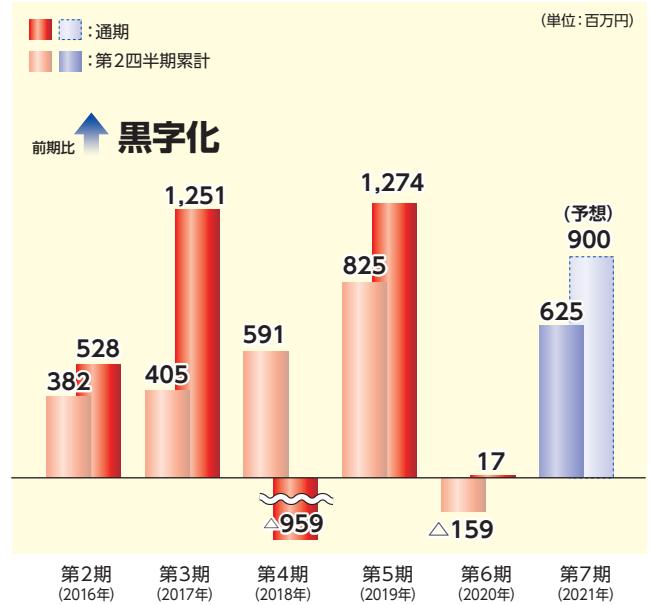


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

◆ 経常利益



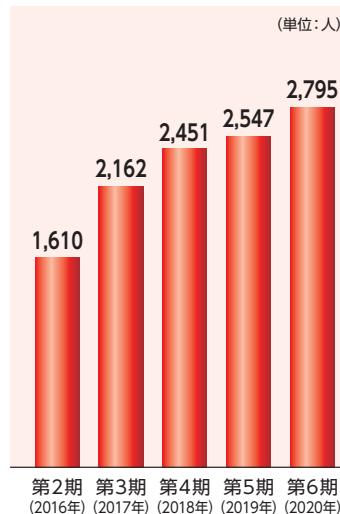
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



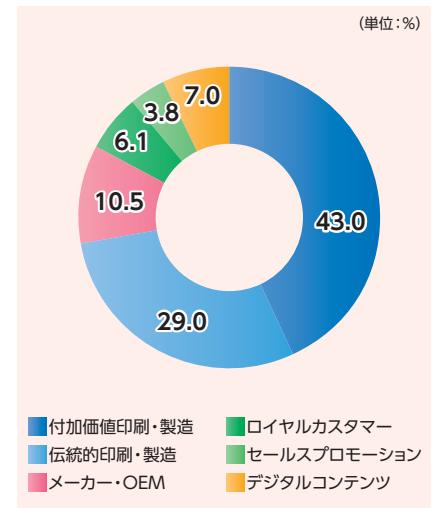
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、第1期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		科目	前 期	
	2020年12月31日現在			2020年12月31日現在	
	当 期			当 期	
	2021年6月30日現在			2021年6月30日現在	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	31,477	26,759	流動負債	40,278	36,375
現金及び預金	14,482	12,214	買掛金	3,619	2,969
受取手形及び売掛金	10,308	8,408	短期借入金	31,000	27,000
短期貸付金	1,994	1,990	その他	5,658	6,405
その他	4,691	4,145			
固定資産	30,489	35,949	固定負債	9,144	13,351
有形固定資産	22,887	23,512	長期借入金	5,900	10,150
建物及び構築物	6,439	6,431	退職給付に係る負債	1,108	1,158
機械装置及び運搬具	2,856	2,626	その他	2,135	2,043
土地	13,165	13,587			
その他	425	866	負債合計	49,422	49,726
無形固定資産	1,089	998	(純資産の部)		
のれん	257	192	株主資本	11,143	11,498
その他	832	806	資本金	400	400
投資その他の資産	6,511	11,438	資本剰余金	5,518	5,530
投資有価証券	3,899	4,505	利益剰余金	6,345	6,664
その他	2,612	6,932	自己株式	△1,120	△1,096
			その他の包括利益	82	96
			累計額合計		
			非支配株主持分	1,318	1,386
			純資産合計	12,544	12,982
資産合計	61,966	62,708	負債及び純資産合計	61,966	62,708

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年6月30日まで	2021年1月1日から 2021年6月30日まで
売上高	24,579	26,617
売上原価	18,244	19,208
売上総利益	6,335	7,409
販売費及び一般管理費	6,532	6,614
営業利益	△ 197	794
営業外収益	315	820
営業外費用	102	251
経常利益	16	1,363
特別利益	35	179
特別損益	82	393
税金等調整前当期純利益	△ 30	1,149
法人税等	98	470
非支配株主に帰属する当期純利益	29	54
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 159	625

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年6月30日まで	2021年1月1日から 2021年6月30日まで
当期純利益	△ 129	679
その他有価証券評価差額分	80	104
繰延ヘッジ損益	0	1
退職給付に係る調整額	5	△ 11
その他	△ 0	△ 64
その他の包括利益合計	85	28
包括利益	△ 43	707

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年6月30日まで	2021年1月1日から 2021年6月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	2,838	3,001
投資活動によるキャッシュフロー	△ 741	△ 6,021
財務活動によるキャッシュフロー	2,551	740
現金及び現金同等物の増減額	4,646	△ 2,280
現金及び現金同等物の期首残高	7,138	14,474
現金及び現金同等物の期末残高	11,751	12,194

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2021年1月1日から6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剩 余 金	利 剰 余 金	益 剰 余 金	自己株式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額		
当期首残高	400	5,518	6,345	△ 1,120	11,143	69	△ 3	16	82	1,318	12,544
当期変動額											
剰余金の配当			△ 252		△ 252						△ 252
親会社株主に帰属する 当期純利益			625		625						625
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株式交換による増加		11		24	36						36
連結子会社株式の 売却による減少			△ 2		△ 2						△ 2
その他			△ 51		△ 51						△ 51
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					-	25	1	△ 11	14	68	83
当期変動額合計	-	11	318	24	354	25	1	△ 11	14	68	437
当期末残高	400	5,530	6,664	△ 1,096	11,498	94	△ 2	5	96	1,386	12,982

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号	株式会社日本創発グループ
英文商号	JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容	傘下グループ会社の経営管理およびそれに付随する業務
設立年月日	2015年1月5日
本社所在地	〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金	400,000,000円
決算期	12月31日
会計監査人	PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数	2,795名(2020.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士	荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード	7814
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	55,271,736株
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行
決算期	12月31日
定時株主総会	3月

■ 役員

代表取締役会長	山川 昌夫
代表取締役社長	藤田 一郎
取締役	鈴木 隆一
取締役	林 基史
取締役	菊地 克二
取締役	浦上 達夫
取締役 監査等委員	野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員	瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員	寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員	篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員	菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員	徳田 佳代子(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにととのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①		②
③	④	
⑤		⑥
	⑦	⑧

- DX分野で活躍する起業家を支援するスタートアップ・スタジオ「GINZA SCRATCH」。事業の成長に必要なブランディング、デザイン、CI、UI/UX設計、デジタルプロモーションなどのノウハウをIT教育最大手のデジタルハリウッドと共に提供します。
- サステナブルでエコな木質系素材MDFをレーザーカッターで切り出して造ったスマホスタンドはノベルティにも最適です。
- 鮮やかなオリジナルショッピングバッグ。企画から印刷、製袋、加工まで一貫体制でお客さまのニーズにお応えしております。
- 透明、白色、抗菌仕様のPPフィルムも自社生産。多様なPP製品を企画・印刷・製造までの一貫体制でお届けします。
- 大手百貨店内にPOP広告制作スタジオを設置してから約半世紀。ビジュアルプレゼンテーションを軸に売り場をサポートします。
- いよいよサービス開始! コイン不要、QRで回せる「ピピットガチャ」。非接触で回せる「ピピットガチャ・タッチレス」もご用意しています。
- 高品質なレターセットを始めとした紙製品や文房具、雑貨は特に大人の女性ユーザーを中心に「ご愛顧」いただいております。
- 折りたたみ式にもかかわらず「オール紙製」にこだわったコンパクトうちわ。分別不要で全て再資源化が可能です。



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。